

日本とアメリカのトランスジェンダーについての大学生の見解

アレックス・クレイグ

マーキー・モズリー

WLC400 キャップストーンのスクリプト

1. 私達のキャップストーンのタイトルは日本とアメリカのトランスジェンダーについての大学生の見解^{けんかい}です。

2. これが概要^{がいよう}です。

3. なぜ私達がこの研究^{けんきゅう}をすることにしたかと言うと私がトランスジェンダーだからです。日米ではどのような誤^{あやま}った情報^{じょうほう}やステレオタイプをもっているかについて知りたいと思いました。

トランスジェンダーの問題^{げんたい}は現代社会^{じゅうよう}において重要^{みす}ですが見過ごされています。女性^{じゅうきょう}になりたくても、家族^{かんねん}の宗教^{しゅうきょう}的観念^{かんねん}のためにできない友人^{ぎもん}がいることに疑問^{ぎもん}を感じたからです。

4. これが私達の研究質問^{けんかい}です。一、トランスジェンダーについて大学生^{けんかい}はどのような見解^{けんかい}を持っているか。

二、大学生^{けんかい}の見解^{けんかい}にはどのようなこと^{えいきょう}が影響^{えいきょう}しているのか、の以上です。

5. これが研究背景^{はいけい}の概要^{がいよう}です。

6. ではまず、トランスジェンダーの定義^{ていぎ}ですが「トランスジェンダーは多くの異なるアイデンティティの包括^{ほうかつ}的な用語^{ようご}、トランスジェンダーとして識別^{しきべつ}する人は、出生^{しゅっせい}時に分類^{ぶんるい}された性別^{せいべつ}と一致^{いっち}しない性同一性^{どういつ}、性別^{せいべつ}および、または性別^{せいべつ}の表現^{ひょうげん}を有^{ゆう}する」という意味^{いみ}です。

アレックス・クレイグ
マーキー・モズリー

7. では、日本ではどうでしょうか。日本では「現代西洋医学に従って表現され実施されているジェンダー・バイナリという用語以外のアイデンティティ」と定義されています。例として「男娼」や「ブルーボーイ」などの日本固有の用語。があります。

8. それでは、ここでトランスジェンダーの歴史についてお話しします。まずアメリカでの歴史ですがこれはネイティブ・アメリカンが人には女性と男性以外の3つ目の性が認識されていましたが1990年まで知られていませんでした。

9. 警察の襲撃や残虐行為に対して立ち向かうために、1969年にはLGBTの権利のための暴動が起きました。

10. 1987年にはトランスジェンダーの人を「性同一性障害」と正式に分け、何らかの病気を持っていると言うイメージを示唆しました。

11. 2009年にオバマ大統領によって「マシュー・シェパード、ジェームズ・バード・ジュニア憎悪犯罪防止法」の「連邦憎悪犯罪」という言葉に関する定義が改正され、ジェンダーアイデンティティに対する暴力が「連邦憎悪犯罪」の定義に加わりました。

12. 2013年にアメリカ精神医学協会は、DSM-5のリリースで、「性同一性障害」という用語を「性的抑鬱」という攻撃的ではない表現に変更しました。

アレックス・クレイグ
マーキー・モズリー

13. 2016年にはオレゴン州の裁判所は、ジェイミー・シュップが性別を合法的に変更し、米国で法的に初めてのノンバイナリ者になることを許可しました。

14. 次に日本のトランスジェンダーの歴史について説明致します。セクシュアリティに関する出版物は、第二次世界大戦前には一般的に存在していました。

15. 1948年の優生保護法は、病気や精神病などの合法的な理由を伴わない個人が子供をもうける能力を排除することを禁じました。

16. 60年代初期には、ゲイバーのホステス、ゲイボーイやブルーボーイ、ショーバーのトランスジェンダーパフォーマンスが見られるようになりました。

17. 80年代初めには、「ニューハーフ」と「ミスターレディー」と言う2つの新しい用語が登場し、これらは様々な程度の外科手術を受けたエンターテイナーの呼称です。

18. 1996年に日本精神神経学会は性別適合手術を正式に承認し、30年の禁止令が集結しました。また、2003年には上川彩が最初のトランスジェンダーとして公選職を得、2007年に再選されました。

19. これは日本とアメリカのトランスジェンダーの統計です。日本とアメリカを比べるとアメリカのトランスジェンダーの人数の方が多いたことが分かりますが、日本の人口密度を考慮すると、日本のトランスジェンダーの人の率がアメリカより高いです。

20. ではここで宗教しゅうきょうはどのようにトランスジェンダーと あつかを取り扱あつかっているのかを見てみましょう。旧約聖書きゅうやくせいしょの経典きょうてんの中の創世記そうせいき1章ではジェンダーバイナリじっしを実施する聖句せいくがあり、レビ記き21章と申命記しんめいき23章ではこうがんのつぶれた物は宗教しゅうきょうの集まりあつには加わくわってはいない、申命記しんめいき22章では女は男きものの着物を男は女きものの着物を着てはいないとしています。

21. イエスが説く新約聖書しんやくせいしょの経典きょうてんの中のマタイしやう6章とルカしやう12章では、自分の身体からだや身みにつけるもの物について心配しんぱいはいらない、マタイしやう19章では不能ふのうに生まれた男また又は去勢きよせいされた男そんざいはいつでも存在そんざいしており、使徒しとの働きはたら8では宦官かんがんを宗教しゅうきょう的な集会しゅうかい参加者さんかとして受け入れるべきだとしています。

22. ユダヤ教きやうでは、旧約聖書きゅうやくせいしょに従したがい、最終的にトランスジェンダーさいしゅうをみとみません。しかし、キリスト教きしとでは、不能ふのうに生まれた男性きやうや去勢きよせいされた男性みとを認め、トランスジェンダーにんげんを一人の人間として受け入れます。そして、この人達を初めてのトランスジェンダーの人と考え、伝道者でんどうしゃとバプティズムこうほしゃの候補者として受け入れることが出来、ユダヤ教きやうとは対照たいしやう的なことが一番重要じゅうやうな相違点そういてんと言えます。

23. 次は日本の宗教しゅうきょう、神道しんとうと仏教ぶつきやうでトランスジェンダーはどのように見られるのでしょうか。神道しんとうではトランスジェンダーに対してこれといった意見いけんは提示ていじされていません。また性別せいべつを変えることが出来る神いなりさまもいます。たとえば、お稲荷様いなりさまは女性でもあるし男性でもあり、仏教ぶつきやうではトランスジェンダーに関してはふれていません。現代げんだいではその人のカルマみかたであるという見方をしています。

24. これは性別せいべつを超えた神こで稲荷様いなりさまや観音様かんのんさまは男女だんじよ一体神いったいしんです。

25. それで、ここでトランスジェンダーに関する^{きょういく}教育についてお話しします。アメリカの州の中で24の州が^{せいきょういく}性教育を義務付けており、^{しこう}性的指向に関する^{ぎろん}議論を取り入れなければいけない州は13州のみです。しかし、^{せいきょういくじゅぎょう}性教育授業における^{どういつ}性同一性の^{ぎろん}議論を義務付ける州はありません。

26. 2016年に^{べいきょういくしやうしほうしやう}米教育省司法省は1972年の^{きょういくかいせい}教育改正のタイトルIXで、^{れんぽうせいふ}連邦政府の^{ざいせいえんじょ}財政援助の^{じゅきゅうしや}受給者によって^{うんえい}運営される^{きょういく}教育プログラムおよび^{かつどう}活動における^{せいさべつ}性差別を^{きんし}禁止しています。このリストは^{きょういくかいせいほう}教育改正法の^{たいしやう}対象となっている物と^{ほご}保護されていない物のリストです。

27. では日本の学校ではどのようなサポートがあるのでしょうか。今年、日本の^{ほうしせいさく}いじめ防止政策には、^{ほご}性的および性的マイノリティの学校への^{ほご}保護が含まれました。学校での一番の問題は、日本の^{しゅうだんしゅぎ}集団主義的な社会の中で、^{きりつ}学校の規律と^{きやうし}教師からのいじめを分けることが難しいと言えます。

28. ^{きょういくめん}教育面から言うとトランスジェンダーに関する問題について^{きょういく}教育する方針を取っている^{ほうしん}都道府県も^とあります。例えば^{たと}福岡県では^{ふくおかけん}2013年にLGBT問題を教える^{かいさい}ワークショップを開催しました。

29. では、ここでトランスジェンダーとメディアについてお話しします。GLAADという^{ひえいりだんたい}非営利団体は毎年「^{いばしょ}私達のテレビでの居場所」という^{はっぴやう}レポートを発表し、^{ふく}ブロードキャスト、ケーブル、および^{かす}ストーリーミングサービスにおけるLGBTQを含む^{ぶんしよか}キャラクターの数を文書化しています。^{ほうそう}放送テレビに出てくるトランス女性は^{さいこう}最高で3人で、トランス男性は0でした。

30. ケーブル番組に出てくるトランス女性は最高^{さいこう}2人で、トランス男性は4人です。ストリーミングサイトではトランス女性は7人で、トランス男性は1人です。

31. 実際^{じっさい}のトランスジェンダーの人^{えが}を描いたトランスキャラクターがいくつかあります。これがその例です。

32. GLAADは、7つの主要^{しゅよう}な映画スタジオからリリースされた映画のLGBTキャラクターの数^{かず}、性質^{せいしつ}、多様性^{たようせい}をまとめた年次^{ねんじ}「Studio Responsibility Index」を^{はっぴょう}発表しました。

33. 「Vito Russo Test」は、LGBTキャラクターの描^{びょうしゃ}写^{しゃ}を3つの基^き準^{じゆん}で判^{はん}断^{だん}します。

34. テレビでは、トランスジェンダーを積^{せつきよく}極^{ごく}的^{てき}かつ包^{ほう}括^{かく}的^{てき}な観^{かん}点^{てん}か^ら捉^{とら}えており、ストリーミングサイトはそのキャラクターの描^{びょうしゃ}写^{しゃ}の先^{さき}駆^がけとなりま^{した}。映画では、2015年に唯^{ゆい}一^{いつ}トランスジェンダーを扱^{あつか}った映画は聴^{ちよう}衆^{しゆう}が笑^{しょう}うた^めの物としてトランス女性^{しょうかい}が紹^{しょう}介^{かい}されトランスジェンダーをジ^{びょうしゃ}ョークとして描^{けいこう}写^{こう}する傾^{けい}向^{こう}があります。

35. 最後に日本のメディアについてお話しします。トランスジェンダーは歴^{れき}史的^{しき}に娯^ご楽^{らく}産^{さん}業^{ぎやう}と関^{かん}連^{れん}し、その考^{こう}え方^はは今^{いま}でも続^{つづ}いています。そしてテレビでは、女^{にょ}性^{せい}的^{てき}な男^{なん}性^{せい}とトランス女性^{しょうかい}を「オネエ」とい^うキャラクターで描^{びょうしゃ}写^{しゃ}し、非^ひ常^{じょう}に人^{にん}気^きがあります。

36. 上^{かみ}川^{かわ}彩^{あや}は、「人^{ひと}がメ^めディアで見る物^{もの}とトランスジェンダーの人^{ひと}か^ら直^{ちよく}接^{せつ}聞^きくのは大^{だい}きなギ^ぎャップがある」と言^いっています。昔^{むかし}はメ^めディアに影^{えい}響^{きやう}されトランスジェンダーであるためホ^ほステ^すスの仕^し事^じ

アレックス・クレイグ
マーキー・モズリー

しかできないと思いこんでいましたが、今は政治家として活躍しています。このようにトランスジェンダーへの正しい認識が大事になります。

37. では、次に私達が行ったアンケート調査の研究結果についてお話しします。この調査には63人の大学生に参加してもらいました。内訳は日本人32人、アメリカ人31人です。オンラインアンケートを通してデータを集めました。

38. それでは研究質問1についての結果を発表いたします。

39. まずは生物学的に関するステートメントに対してアメリカ人の学生は、性器が性別と直接関連することに強く同意しないという傾向にありましたが、日本人の大学生は性器と性別が同じだと答えました。

40. トイレに関するステートメントに対して多くのアメリカ人の学生はノンジェンダートイレが必要だと感じ、日本人の学生はほぼ中立だったということが分かりました。

41. 日米の学生共にノンジェンダートイレを誰が使用するかというステートメントには特に意見はありませんでしたが、必要性は感じているという結果が出ました。

42. 大学のクラブ活動に関するシナリオに対しては、トランスジェンダーの人が移行した性別のクラブ活動や学校活動に参加するべきだとほとんどの人が同意しました。

43. 個人的に関するシナリオに対して多くのアメリカ人の学生はトランスジェンダーを絶対的に受け入れ、日本人の学生は一般的に受け入れていることが分かりました。しかし、日本人の学生は移行したい友達と家族の考えは受け入れにくいとしています。

44. 代名詞に関するシナリオに対してアメリカ人の学生は親しい友達が移行したい性別の代名詞で友達を呼ぶことに全く抵抗がなく、日本人の学生はノンジェンダーの代名詞で友達を呼ぶことに抵抗がないと言う結果が出ました。

45. ここで研究結果1 のまとめについてお話しします。
アメリカ人の学生は正規のバイナリ以外の性別の多様性を受け入れています。

日本人の学生は性器と性別がジェンダーに直接関連していると考えています。

アメリカ人の学生はトランスジェンダーのアイデンティティを受け入れ、オープンであると言えます。

日本人の学生はノンジェンダーのアイデンティティと公共の施設の使用について受け入れていると言えます。

日米の学生共に、性別移行したことを知っている人を受け入れているように見えますが、日本人の学生は移行したい友達と家族の考えは受け入れにくいとしています。

46. それでは研究質問2 についての結果を発表いたします。

47. まずは「あなたは宗教的な環境で育てられましたか。」という質問に対してアメリカ人の学生は宗教的な環境で育ったが教義には従わなかったと答え、全ての日本人の学生は宗教的な環境で育てられなかったと答えました。

48. 「あなたには信仰しんこうしている宗教しゅうきょうがありますか。」という質問に対してアメリカ人の学生は信仰しんこうしている宗教しゅうきょうがあるのにも関わらずあまり熱心ねっしんではなく、約7割やくわりの日本人の学生は信仰しんこうしている宗教しゅうきょうがないと答えました。

49. 「あなたが信仰しんこうしている宗教しゅうきょうには、トランスジェンダーに関して肯定的こうていまたは否定的ひていな教義きょうぎがありますか。」という質問に対して日米の学生の信仰しんこうしている宗教しゅうきょうはトランスジェンダーに関する教義きょうぎがあるかどうか分からないと答え、多くのアメリカ人の学生が否定的ひていな教義きょうぎがあると認識にんしきしていました。

50. 「トランスジェンダーに関する授業じゅぎょうに参加さんかしたことがありますか。」という質問に対して多くのアメリカ人の学生は授業じゅぎょう以外いがいで知り、日本人の学生はトランスジェンダーに関する授業じゅぎょうを取ったこととがないと言う結果けっかが出ました。

51. 「その授業じゅぎょうにいつ参加さんかしましたか。」という質問に対して日米の大部分だいぶぶんの学生は大学でトランスジェンダーに関する授業じゅぎょうを取ったとと言うことが分かりました。

52. 「そのトランスジェンダーについての授業じゅぎょうの内容ないようは、あなたにとって非常に役立やくだつ物でしたか。」という質問に対して日米の学生はその授業じゅぎょうが多少役たしょうやくに立たったと答えた人が多数たすういました。

53. 「あなたは今までに自分自身じしんでトランスジェンダーについて調しらべたり学まなんだりしたことがありますか。」という質問に対して日米の

学生共に自分で学んだことはあるがあまりよく分からないと答えました。

54. 「あなたはどうやってトランスジェンダーについて知りましたか。」という質問に対してアメリカ人の学生は主にソーシャルメディアや友人を通じて学び、日本人の学生は主に本や雑誌や映画やドキュメンタリーを通して学んだと言う結果が出ました。

55. 「トランスジェンダーが最もよく話題になるメディアを3つ選んでください。」というステートメントに対してアメリカ人の学生は、ほとんどがソーシャルメディア、テレビ、ニュースを通じて、日本人の学生はテレビ、ソーシャルメディア、ドキュメンタリーを通してトランスジェンダーの問題に関して知ったと言うことが分かりました。

56. 最後に「選択したメディアはトランスジェンダーについてどのように位置づけていますか。」という質問に対してアメリカ人の学生はメディアの取り上げ方は肯定的であると感じ、日本人の学生はほぼ中立的な立場を取っていることが明らかになりました。

57. ここで研究結果2のまとめについてお話しします。

アメリカ人の生活の中で宗教はより強い影響力があり、否定的な教義がある宗教も多いことは事実です。

日本人は宗教的な影響力がほとんどなく、トランスジェンダーに関する教義があるかどうかについては知りません。

トランスジェンダーについて日本人はLGBTに関する情報をクラスで学びLGBTを包括的に考え、アメリカ人の学生は、主にソーシャルメディアを通して学校以外で学ぶ傾向にあります。

日本ではトランスジェンダーのアイデンティティは主にテレビで
中立的な立場で取り上げられていると感じていますが、アメリカ人の
学生は、メディアがトランスジェンダーの人々を肯定的に表現し
ていると感じています。

58. これが研究の結論です。

アメリカ人の学生は全体的にジェンダーの多様性を受け入れ、LGBT
コミュニティのための組織化した権利の長い歴史があり、個人主義
的な文化や自由な表現を重要視し、アイデンティティの多様性を受
け入れる本当の平等を望んでいます。

日本人の学生はジェンダーの多様性を受け入れていますが、自分達
に影響がある場合は中立を好み、違和感のある状況を避ける
習慣があります。また、日本では未だにトランスジェンダーは
精神障害による物と思われ、個人主義よりも集団主義的を必要とす
る文化があり、人と違う意見を持つこと難しいと言えるかもしれま
せん。

59. それでは研究の限界点についてお話しします。

アメリカの学生の回答者の大部分はカリフォルニアの出身で、多く
の日本人の回答者はアメリカに留学した経験があります。このこと
が結果に影響した可能性もあります。

また、特定の用語の翻訳は非常に難しい場合があり、日本語と英語
の翻訳が一致していないかもしれません。

60. 最後に将来の研究課題についてお話したいと思います。

将来この研究を続ける機会があれば、日米のより広い地域からの学
生に参加してもらい、「中立」の選択肢を外し、性同一性に関する
より多様な質問をしたいと考えています。

アレックス・クレイグ
マーキー・モズリー

また、トランスジェンダーに関して意見^{いけん}を述べている宗教^{しゅうきょう}と教義^{きょうぎ}についてさらに学びたいと考えています。

61. これが私たちの参考文献^{さんこうぶんけん}です。

63. 最後に、ご指導^{しどう}くださった先生方^{せんせい}と支^さえてくださった翻訳^{ほんやく}のアシスタント達や友達^{かんしや}に感謝^{かんしゃ}をいたします。